

都市再生整備計画(清算報告)

わ こう し え ち ご や ま ち く
和光市越後山地区

さいたま わ こう し
埼玉県 和光市

・様式は、A4長辺側を、2箇所ホチキス留めすること。

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	埼玉県	市町村名	和光市	地区名	越後山地区	面積	15.6 ha
計画期間	平成 19 年度 ~ 平成 23 年度	交付期間	平成 19 年度 ~ 平成 23 年度				

目標

大目標:安全で快適な居住環境の形成とあわせて、新旧住民との交流を深めるためコミュニティ機能の充実をはかり、継続的なまちづくりを実現する。

目標1:新住民の受け皿として、公共施設整備改善をはかるとともに地域住民が主体となった景観づくりを実現し快適な居住環境を目指す。

目標2:総合的な面整備による防災性・防犯性の向上を実現し、安心・安全を心から実感できる地域づくりを目指す。

目標3:新旧住民のふれあいの拠点を創出するとともに、本事業をきっかけとした地域住民による「まちの管理」「コミュニケーションづくり」が継続的に維持される地域づくりを目指す。

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

・当地区は、首都20km圏に位置する和光市の南側に位置し、東京都練馬区と隣接している。このような立地条件から本地区周辺は高度経済成長とともに市街化の進展は顕著であり、現在も人口や開発の動向は増加の傾向を示している。

・都市計画マスタープランにおいて、当地区は土地区画整理事業を推進し和光市南部住宅地として、「緑豊かな環境を基調として、各々の立地特性を活かした特色ある住宅地の形成」が位置づけられている。

・当該地区は、昭和59年12月26日(第2回線引き見直し)において暫定逆線引き区域の指定を受けたが、地域住民の発意により平成17年9月17日に土地区画整理組合が設立された。当組合では、さらに住みよいまちを目指し、地域住民と和光市職員、専門知識を有する者で、「越後山プロジェクト」を設置し将来のまちづくりに向けた諸施策の提案をする。

課題

・和光市における過去10年の人口の推移は、年間約2～3%増加を示しており、埼玉県の平均増加率を大きく上回っている。また近年においても住宅を中心に開発の勢いはとまらない。このため、道路・公園などの公共施設とあわせて快適な居住環境の整備が必要である。さらに開発とあわせた新旧住民のコミュニティの場の形成、人と人との交流から活力のある地域形成が待ち望まれる。

・本地区は首都圏近郊の立地条件から、市街化の進展が顕著である。しかし、道路・公園等の基盤整備が不備であるため、秩序ある宅地整備とあわせて公共施設の整備改善が必要である。

・地区内の交通は、狭小道路によるすれ違いが困難な箇所や行き止まり道路により交通の不便な箇所が随所に見受けられる。

・交通量の多い道路において、歩道が未整備であるため朝晩の交通量が多い時間帯に通勤・通学者が事故にあう恐れがある。このような状況の中、地域住民から歩道設置による安全対策が求められている。

・本地区周辺には、地域交流を目的とした施設は不備であり、今後、土地区画整理事業により人口の増加が予想されることから、新旧住民のコミュニティ形成を目的とした施設が必要である。

将来ビジョン(中長期)

「緑豊かな人間都市、和光 すべての市民による豊かな福祉・環境・教育の実現」

・和光市総合振興計画では、秩序ある良好な住宅地の形成に不可欠な都市基盤整備を推進し、高齢化社会にも対応した良質の住宅地を供給することが位置づけられている。

・都市計画マスタープランによる本地区周辺は、道路や公園など良好な住宅基盤を整備するとともに、核となるコミュニティの拠点を形成し、住宅地として一体感・生活の利便性を図ることが位置づけられている。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
1.定住人口	人	地区内人口400人の50%増	公共施設整備改善とあわせて、安心・安全なまちづくりを目指し、定住人口50%増を見込む。	400	18	600	23
2.イベント参加者数	人	地域住民を中心とした各種イベントへの参加人数	地域住民による「まちづくり活動」や「イベント」等をきっかけにコミュニティの活性化と継続的なまちづくり実現を目指す。	0	18	180	23
3.定住者による満足度調査	%	まち及び施設に対する満足度調査	住民主導型のまちづくりを実施していく中で、地域住民から高い評価を得られるまちづくりを目指す。	20	18	60	23

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
整備方針1(公共施設の整備改善、景観形成) ・魅力的で快適な居住環境を形成するために、地域住民が主体となり、丘陵地形を活かした緑の森に囲まれた景観形成を実現して個性と潤いのあるまちづくり整備を実施する。	・土地区画整理事業(基幹事業/和光市越後山土地区画整理事業) ・事業活用調査(提案事業/地区景観計画策定) ・まちづくり活動推進事業(提案事業/まちづくりプロジェクト、まちづくり委員会、PR活動)
整備方針2(安心・安全地域づくり) ・安心・安全地域づくりを実現するために、歩行者優先のまちづくりと地域住民による防犯・防災対策を実現する。また、調整池を整備し、まちに安心・安全面での付加価値を与える。	・土地区画整理事業(基幹事業/和光市越後山土地区画整理事業、安心安全歩行空間整備) ・事業活用調査(提案事業/地区防災計画策定) ・まちづくり活動推進事業(提案事業/防犯パトロール、子供消防隊)
整備方針3(地域コミュニティの形成) ・新旧住民のコミュニティを形成するために、地域住民による「まちづくり活動」や「イベント」等を積極的に実施し、本事業をきっかけとした継続的なまちづくり(コミュニケーションづくり)を実現する。	・まちづくり活動推進事業(提案事業/地域ふれあい活動、イベント、地産地消活動等)
その他 ○事業終了後の継続的なまちづくり活動について ・本地区の目標設定では、限りなく続く地域づくりを創造するために、完成したまちの管理と地域住民のコミュニケーションづくりを継続する方針である。具体的には、イベント・祭り・地産地消事業の継続のほか、実のなる木の地域住民による管理、公共施設等の管理を実施する方針である。 ・地域住民による防犯・防災活動を継続する方針である。 ○街並み形成の誘導を図るための方策について ・本地区は、土地区画整理事業とあわせてより景観に優れたまちを実現するために、景観法に基づく地区計画の制定ならびに建築条例を推進して建物の統一や緑化を図る。 ○交付期間中の計画の管理について ・交付期間中において各事業を円滑に進め、目標に向け確実な成果をあげるために、行政と土地区画整理組合が一体となり関係機関と協力して管理する。 ・まちづくり整備方針については、「まちづくりプロジェクト」で検討し「まちづくり委員会」で提案したうえで「土地区画整理組合」の承認を得る。その結果は新聞等を通して住民に情報公開する。	

交付対象事業費	488	交付限度額	195.2	国費率	0.4
---------	-----	-------	-------	-----	-----

基幹事業	事業		事業箇所名	事業主体	直 / 間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象 事業費
		細項目					開始年度	終了年度	開始年度	終了年度					
	道路														
	公園														
	河川														
	下水道														
	駐車場有効利用システム														
	地域生活基盤施設														
	高質空間形成施設														
	高次都市施設														
	既存建造物活用事業														
	都市再生交通拠点整備事業														
	土地区画整理事業		越後山地区	越後山土地区画整理組合	間	14.8ha	17	28	19	23	4,754	461	461	0	461
	市街地再開発事業														
	住宅街区整備事業														
	地区再開発事業														
	人にやさしいまちづくり事業														
	優良建築物等整備事業														
	住宅市街地 総合整備 事業	拠点開発型													
		沿道等整備型													
		密集住宅市街地整備型													
		耐震改修促進型													
	街なみ環境整備事業														
	住宅地区改良事業等														
	都心共同住宅供給事業														
	公営住宅等整備														
	都市再生住宅等整備														
	防災街区整備事業														
	合計										4,754	461	461	0	461

[illegible]